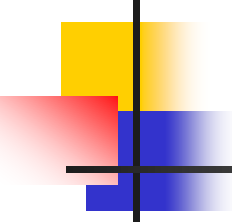




JAバンク青森の地域密着型金融の 取組状況について(2019年度)

2021年1月
農林中央金庫青森支店



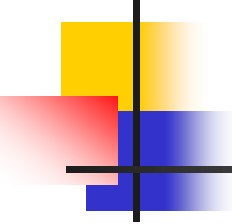
JAバンク青森（県内10JA、農林中央金庫青森支店）では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク中期戦略（2019～2021年度）に基づき、地域密着型金融に取り組んでまいりました。

2019年度の地域密着型金融の実績について取りまとめましたので、ご報告いたします。



目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 … P. 4
- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P. 11
- III 農業資金対応等による経営支援 … P. 14
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … P. 17



I 農山漁村等地域の活性化のための 融資をはじめとする支援



最適な農業資金提供に向けた取組み

- JAバンク青森は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 2020年3月末時点のJAバンク青森の農業関係資金残高^(注1)は35,357百万円^(注2)となっています。

(注1) 農業関係資金残高とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) 日本政策金融公庫の受託貸付金残高（非転貸）を含みません。

【資金種類別農業関係資金残高】 (単位:百万円)

種 類	2020年3月末
プロパー資金(注1)	30,391
農業制度資金(注2)	4,966
農業近代化資金	3,403
その他制度資金(注3)	1,563
合 計	35,357

(注1) プロパー資金とは、JAバンクの資金を原資として融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。

(注3) その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業関係資金の受託貸付金残高】 (単位:百万円)

種 類	2020年3月末
日本政策金融公庫資金(注4)	1,701

(注4) JAバンク青森では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金(非転貸)を取り扱っています。

【営農類型別農業関係資金残高】 (単位:百万円)

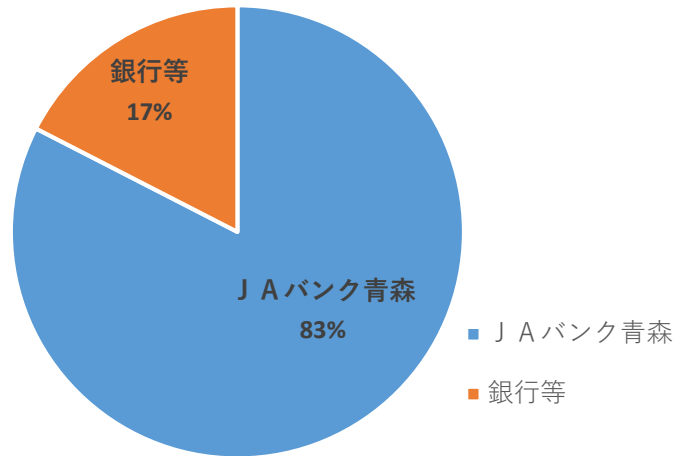
営農類型	2020年3月末
農業	30,411
穀作	5,218
野菜・園芸	4,181
果樹・樹園野菜	3,902
工芸作物	336
養豚・肉牛・酪農	5,636
養鶏・鶏卵	1,678
その他農業(注1)	9,460
農業関連団体等(注2)	4,946
合計	35,357

(注1) 「その他農業」には、複合経営で主たる営農類型が明確に位置づけられない農業者に加えて農業サービス業や農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2) 「農業関連団体等」には、JA・全農ならびにその子会社等が含まれています。

JAバンク青森は農業関係の主要な制度資金である農業近代化資金の取扱いにおいてトップシェアとなっております。

青森県の農業近代化資金 融資残高のシェア



2019年12月末現在
出所:農林水産省

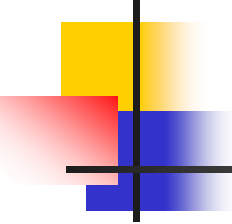
担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク青森では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- 県内JAでは、本支店の農業融資担当者や、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JAと農林中央金庫青森支店に計65人の「担い手金融リーダー」を設置し、農業融資担当者の活動をサポートしています。
- 農林中央金庫青森支店では、JAのサポート・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。



JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAを挙げて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、事業間連携を強化しています。



Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに 応じた支援

新規就農者の支援

- JAバンク青森では、新規就農者を支援するため、新規就農者関連資金を取り扱っています。

【2019年度 新規就農関連資金貸出実績】

(単位:件、百万円)

	実行件数	実行金額	2020年3月末残高
JA新規就農応援資金	8	20	48
就農支援資金(注1)	-	-	26
青年等就農資金(注2)	11	60	72
合計	19	80	146

(注1) 就農支援資金は2014年度までの旧制度に基づく制度資金です。

(注2) 青年等就農資金は2014年度に取扱開始となった日本政策金融公庫(農林水産事業)の制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

経営不振農業者の経営改善支援

- JAバンク青森では、農家負担軽減支援特別資金の対応にあたり、地域において特別融資制度推進会議を開催し、農業者の経営再建に向けて関係機関と協議しています。

【2019年度 経営改善支援取組実績】

(単位：先、%)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 a/A	ランクアップ率 b/A
正常先	20	7		10	35.0	
要注意先	35	11	16	15	31.4	45.7
要管理先	12	10	0	11	83.3	0.0
破綻懸念先	89	3	6	25	3.4	6.7
実質破綻先	11	2	0	9	18.2	0.0
破綻先	2	1	0	2	50.0	0.0
合計	169	34	22	72	20.1	13.0

(注) 経営改善支援取組先は、JA・信連・農林中金が再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。

ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。



Ⅲ 農業資金対応等による経営支援

負債整理資金による経営支援

- JAバンク青森では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2019年度 負債整理資金貸出実績】

(単位:件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	2020年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金(注1)	1	1	118
畜産特別資金(注2)	-	-	159
その他	5	26	289
合計	6	27	566

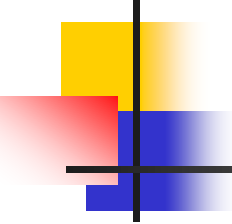
(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。



農業融資への利子補給の実施

- JAから農業資金の融資を受ける農業者・農業経営体に対して借入負担の軽減策を図ることで、その経営をバックアップし成長に向けた支援をすることを目的に、農林中央金庫がJAに利子補給を行っております。
- 2019年度は県内JAが融資する4,106件の農業資金に対し、70百万円の利子補給を行いました。



IV 農山漁村等地域の情報集積を活用 した持続可能な農山漁村等地域育成 への貢献



災害などの被害を受けた方への支援

- JAバンク青森では、災害等の被害を受けた方を支援するため、2019年度は災害緊急資金を創設したほか、個別融資先の経営状況に応じて資金を対応しました。

【県内JAによる対策資金①】

(単位:件、百万円)

JA名	取組み	内容	件数	金額
JA相馬村	減収資金	りんご減収による短期貸付資金の対応をしました。	27	17
JA相馬村	減収資金	りんご減収による長期貸付資金の対応をしました。	13	22
JA津軽みらい	令和元年産 野菜農家経営維持対策資金	令和元年産の野菜の自然災害および価格低迷による農業経営の悪化に対応するため、農業経営の維持や再開を目的とした緊急性を要する資金の対応をしました。	20	37
JA津軽みらい	令和元年産 りんご経営維持対策資金	干ばつ等の気象災害に伴うりんごの小玉傾向および収穫量の減少による農業経営の一時的な悪化に対応するため、農業経営の維持や再開を目的とした緊急性を要する資金の対応をしました。	46	45

【県内JAによる対策資金②】

(単位:件、百万円)

JA名	取組み	内容	件数	金額
JA十和田おいらせ	野菜販売価格低迷に伴う、運転資金の対応	野菜販売価格低迷への対策として独自資金を創設し、JAが利息および保証料の全額負担を行いました。	118	318
JAおいらせ	農産物販売価格低迷による運転資金不足対策資金	農産物販売価格低迷の影響を受け営農運転資金が不足した組合員に対し、低利資金の対応をしました。	62	215
JA八戸	長期的な少雨、干ばつ、高温障害による農産物の販売価格低迷の対応	自然災害等による農産物の被害を受けた組合員に対し、低利資金の対応をしました。	12	23

JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク青森では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するために、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンク青森を通じて、2019年度には県内の小学校、特別支援学校計282校へ11,050セットを配布しており、学校の授業等において活用されています。



教材「農業とわたしたちの暮らし」表紙